

自分を好きになる

発行日 平成31年 1月31日

◎学校自己評価について

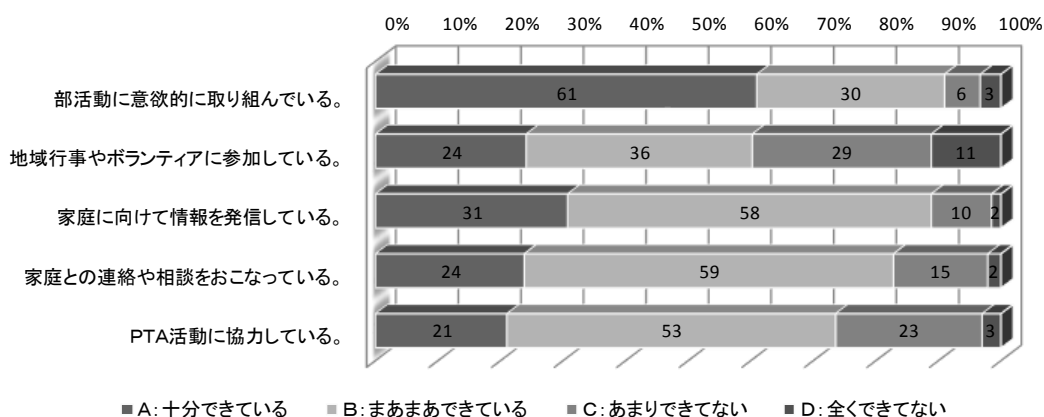
2学期末に生徒、保護者、本校職員を対象に「学校生活に関するアンケート」を実施しました。

平成30年度 学校自己評価 保護者アンケートのまとめ

在籍数(人)	回答数(人)	回収率(%)
386	311	81

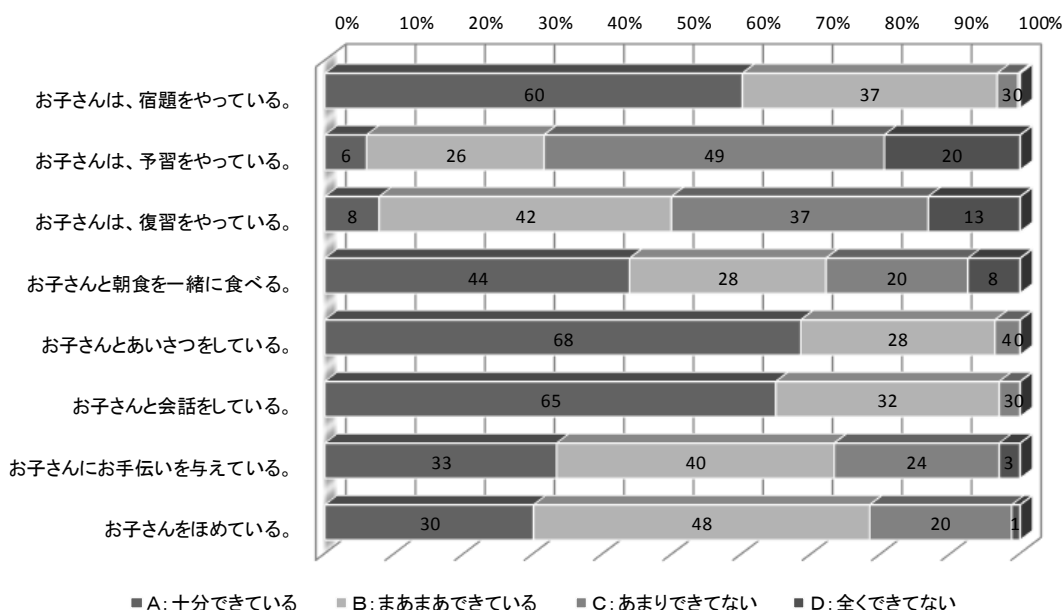
【Ⅰ 地域とのかかわりについて】

地域とのかかわりについて



【Ⅱ 家庭生活について】

家庭生活について



学校自己評価の考察

I 授業について

- 1 ねらいやゴールを示すことは、昨年度より更に定着してきている。
- 2 生徒同士の学び合いや発表する場、振り返りの場は、明確に位置づけるように意識して授業改善を進めていきたい。
- 3 更に生徒にわかりやすい説明の仕方や板書の工夫について学び合い、研究・研修を深めていきたい。
- 4 生徒の良さを認めることは定着してきているが、自己肯定感の向上にもつながるので、今後一層意識していきたい。

II 学校生活について

- 1 「楽しく学校生活を過ごしている」に関しては、生徒・職員ともに昨年度よりも向上している。学校生活については、おおむね落ち着いた生活ができていると思われる。
- 2 楽しく学校生活を送れていないと感じている生徒が4%いるので、Q-U検査の結果を活用する等して学級経営に反映させ、更に向上できるようにしていきたい。

III 家庭生活について

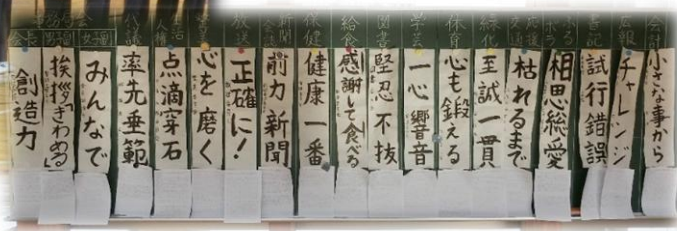
- 1 宿題については、意欲的に取り組んでいる生徒が多い。
- 2 予習と復習については、まだまだ定着していない。「教えて考えさせる授業」の研究をさらに深めて、予習→授業→復習という習得サイクルを定着させることで、学力の向上を図っていきたい。
- 3 規則正しい生活については、保護者アンケートでは「子どもと一緒に朝食を食べているか」という質問であったため、保護者の数値が低くなってしまっている。
- 4 家庭でのお手伝いについては、保護者アンケートでは「子どもにお手伝いを与えているか」という項目であったため、保護者の数値が低くなってしまっている。
- 5 自己肯定感を向上させるためにも、家庭でも良さを認めていけるよう働きかけをしていきたい。

IV 地域とのかかわりについて

- 1 家庭への情報発信や連絡を引き続き、こまめにおこなってきたい。
- 2 中学生は休日でも部活動があるため、なかなか地域の行事に参加することができない。千曲川クリーンキャンペーンや夏休みの各種のボランティア活動などに、積極的に参加するように働きかけていきたい。



新生徒会スタート
第1回生徒集会と決意表明

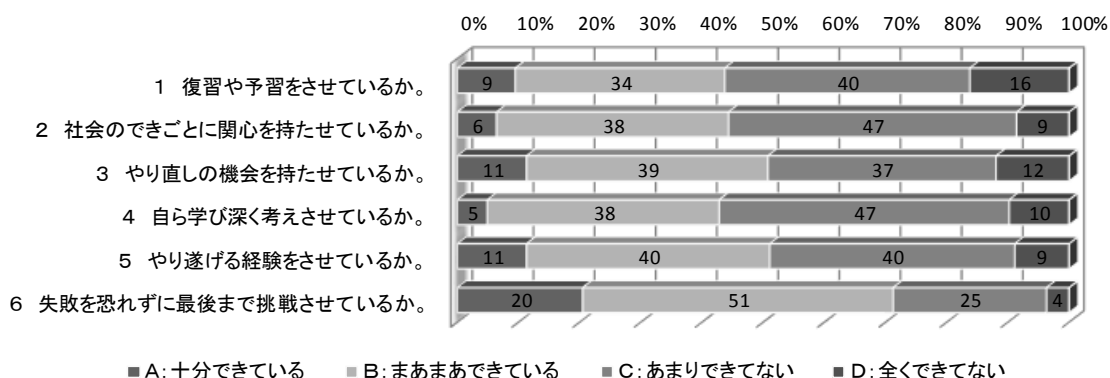


平成30年度 コラボレーションプラン 保護者アンケートのまとめ

在籍数(人)	回答数(人)	回収率(%)
358	307	86

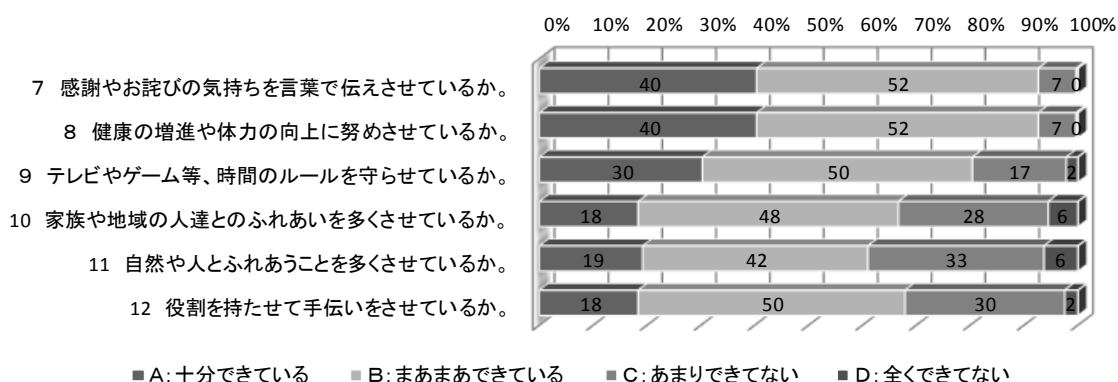
【Ⅰ わかった喜びを味わうために…】

プランA(学習習慣) プランB(学習意欲)



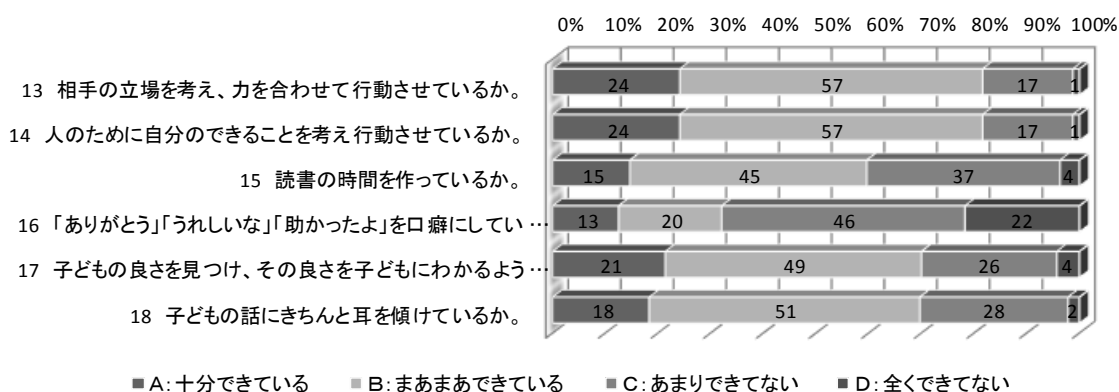
【Ⅱ できた喜びを味わうために…】

プランC(生活習慣) プランD(ふれ合い)



【Ⅲ 認められた喜びを味わうために…】

プランE(豊かな心) プランF(勇気づけ)



平成30年度 コラボレーションプラン 保護者アンケートの考察

I. わかった喜びを味わうために…

1. （学習習慣）や（学習意欲）に関しては、各項目において5割の保護者ができていると自己評価している。
2. 全くできていないと自己評価している保護者が各項目にいたので、評価向上に向けて、どのような手立てが必要か考えていきたい。

II. できた喜びを味わうために…

1. （生活習慣）に関しては、8割以上の保護者ができていると自己評価している。保護者の方の家庭における指導力の高さに感謝するとともに、更に向上していくようにコラボレーションプランを定着させていきたい。
2. （ふれ合い）に関しては、家族や地域、自然や人とのふれ合いに関して、昨年よりも向上しているが5割ほどなので、更に働きかけをしていきたい。

III. 認められた喜びを味わうために…

1. （豊かな心）に関しては、8割以上ができていますと自己評価している。一方読書時間確保の評価が6割程度にとどまり、昨年よりも低下している。評価向上に向けて、引き続き呼びかけをおこなっていきたい。
2. （勇気づけ）に関しては、「ありがとう」「うれしいな」「助かったよ」を口癖にする項目の昨年同様の低評価が気になる。アドラー心理学に基づく勇気づけ言葉の重要性を、引き続き保護者の方に働きかけをしていきたい。

